

KCRC-25-0002

臨床研究の名称	間質性肺疾患に伴う肺高血圧症の診断における呼吸機能検査の有用性に関する検討
研究責任者の所属・氏名	呼吸器内科 医長 酒寄 雅史
研究の概要	【目的】 間質性肺疾患に伴う肺高血圧症の診断には心臓カテーテル検査が必要ですが、検査による患者さんの身体への侵襲性や各医療機関の体制などから、間質性肺疾患の患者さん全員に心臓カテーテル検査を行うのは困難です。そのため負担の少ない検査で肺高血圧症の存在を予測して、肺高血圧症である可能性の高い患者さんを選んで心臓カテーテル検査を行うことが重要になっています。肺高血圧症を予測する検査には心臓超音波検査がありますが、更に呼吸機能検査を用いることでより正確に肺高血圧症の存在を予測することができるかどうかを調べることがこの研究の目的です。 【対象患者】 間質性肺疾患で当センターを通院したことがある方のうち、2021年1月から2026年3月までに、当センターにおいて間質性肺疾患に伴う肺高血圧症の疑いで右心カテーテル検査を受けた患者さん 【方法】 臨床経過や呼吸機能検査、心臓超音波検査、心臓カテーテル検査、血液検査などの検査結果をカルテから参照して、呼吸機能検査データが間質性肺疾患に伴う肺高血圧症の存在の予測に有用であるかどうか統計解析を用いて調査を行います。 【使用する情報】 患者背景（年齢・性別・体重・合併症等）、検査結果（血液・画像・呼吸機能・超音波・カテーテル検査）、臨床症状、治療内容、経過等 【情報使用の開始予定日】 2025年5月開始予定
問い合わせ先	呼吸器内科 医長 酒寄 雅史 〒236-0051 横浜市金沢区富岡東 6-16-1 神奈川県立循環器呼吸器病センター 電話番号 045-701-9581（代表）

2025年4月作成

※ 研究に情報を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益を生じることはありません。上記の問い合わせ先までご連絡いただけましたら、その方の情報は本研究に利用しないようにいたします。

※ 問い合わせ先の担当者が不在の場合は、臨床研究室にお問い合わせください。